

1. 授業の概観および状況

本授業は，中学校技術科の免許を取得するための必修科目である。1年次後学期に開講している。木材に関する基礎知識と加工するための工具・機械の仕組みや使用方法などの教授を主体とし，その中に実習を含めて講義を行う内容である。

二種免の取得を希望する学生は，木材に関する授業はこれのみである。座学だけ受講し知識だけあっても，モノづくりはできない。今回は，簡易であるがかまぼこ板を使ったスマホスタンドの製作を授業の最後に取り入れた。また，少しでも，専門教科になじむことや理解を高めるために，小テストを取り入れることによる時間外学習を促すことにしている。今年度は最終試験の前に単元終了時に4回の小テストを実施した。それらを含めて授業評価について報告する。

2. 授業評価方法

評価は科目独自のアンケートおよびディプロマ・ポリシー（以下DP）による授業評価を使用した。受講人数は8名（中等教育コース

表1 アンケート質問内容(科目独自)

設問番号	設問内容
(1)	教員の話し方や説明により，授業内容（概念，理論など）が，わかりやすく講義された。
(2)	授業の内容・レベルはあなたにとって適切だった。（5段階評価）
(3)	授業を受講した目的が達成された
(4)	本授業により新しい知識，概念，技能を見につけることができた
(5)	技術専修の他の講義に関して興味・関心がわいてきた
(6)	木材・木材加工に対して興味・関心がわいた
(7)	実際に木材を加工して製品を作製してみたい
(8)	ミニ試験を行うことで，学習の復習するきっかけになりましたか？

ス3名，数学専攻1回生1名，小学校サブコース技術専攻1回生3名，家政専攻3回生1ス3回生1名，特別支援2回生1名，学校教育4回生1名）である。男女割合は男6名，女2名である。科目独自のアンケート質問内容を表1に示す。

3. 授業評価結果

科目独自アンケート回答結果を図1に示す。

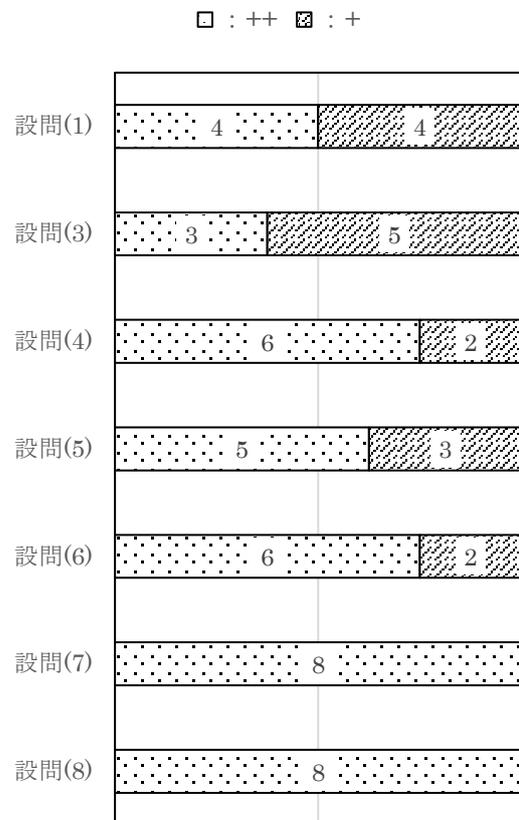


図2 科目独自アンケート結果

どの項目についてもほぼ肯定的な回答を得た。設問(2)の難易度については，「やややさしい」1名，「適切」が3名，「やや難しい」が4名であった。

平成28年度から設けられた中等教育コースは4年目となる。技術専攻の定員は3名である。入学から中学校技術科という縛りがあり，学生が在籍の意義を理解していること，

また、技術専攻以外の5名の学生も、技術教員免許取得の目的がはっきりしているため授業への興味・関心を高め、積極的に授業に取り組んだことが評価の向上につながったと考える。

授業内容の節目に4回の小テストを行った。テストの実施は予告している。得点率は第1回目が31~100%，第2回目が22~56%，第3回目は11~96%，4回目は16~79%であった。期末試験の得点率は55~83%であった。小テストの内容や学生個人により、成績にムラがみられた。

総合的な最終評価の内訳は秀：2名，優：5名，良：1名であった。

次に、DPのアンケート結果を図3に示す。

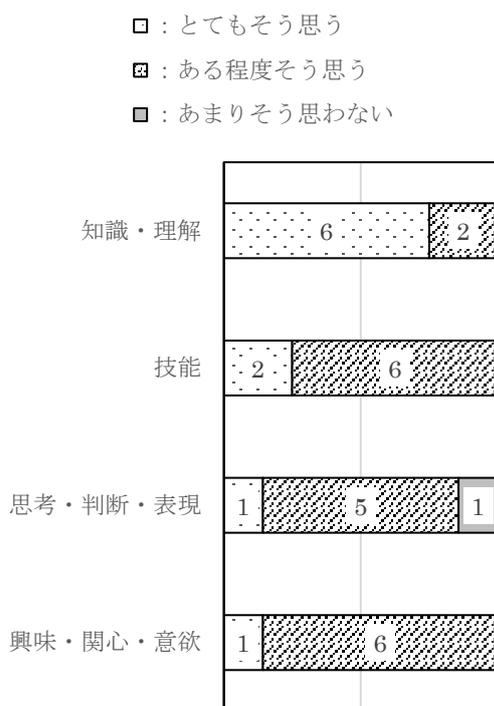


図3 DP についての回答結果

「知識・理解：教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している」と「技能：教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている」では、8名が肯定的に回答している。この教科の学習目的でもあるので、授業者としては目標達成

ができていていると考える。

「思考・判断・表現：教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる」や「興味・関心・意欲、態度：教師としての使命感や責任感を持ち、自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする」では、肯定的に回答している学生もいるが、質問が授業内容に合わないとは回答している学生もいた。

「この授業で出された課題や予習・復習のために、授業時間外に費やした学習時間は平均で一週間に何時間程度ですか。」の質問では0~6時間（平均：1時間）であった。授業最後に作製させたスマホスタンドを図4に示す。受講生はものを作ることは積極的に取り組む傾向がある。

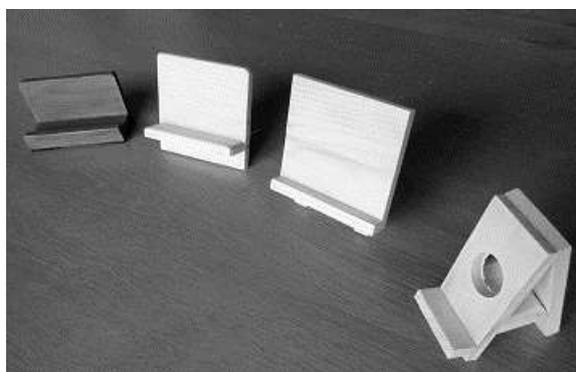


図4 かまぼこ板を使ったスマホスタンド

おわりに

中等教育コースの設置は授業に取り組む姿勢に影響を与えているように考える。また、技術専攻以外の受講学生に関しても本人の受講意思であり、学習態度はよいものがある。

15回の授業に適宜小テストを取り入れることの効果はあまり表れていない。授業の中に適宜刺激（小実習）を与えるようにして、興味・関心を高め、それを学習意欲・知識定着に結び付けるように授業の工夫を行っていきたい。